

## 令和5年度（2023年度） 東海市幼児教育研究協議会事業報告

## 1 公開保育について

## 研究保育共通テーマ「子どもの深い学びにつながる保育を考える」

## (1) 実施園及び内容

実施園	月 日	中 心 課 題	講 師	参加者
東山保育園	10月31日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは、自分の生活経験から、どのような学びを得て活動を繰り返し広げているか。</li> <li>・遊び込む・没頭するということについて、その子がどの程度の熱量をもって活動に参加しているか。</li> <li>・保育者は、子どもがより活動に没頭しやすくなるためにどのように関わっているか。</li> <li>・保育者の働きかけ、環境の構成はどうか。</li> </ul>	愛知淑徳大学 准教授 岡田泰枝氏	25人
平洲保育園	11月1日(水)		同上	22人
明佳幼稚園	11月10日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは、漢字に触れながらどのように遊びを楽しんでいるか。</li> <li>・保育の中で言葉や文字への興味関心や言葉による伝え方に関してどのように取り入れているか。</li> </ul>	幼年国語教育会 会長 清水良明氏	25人

## (2) 参加者の意見・感想より

## 《東山保育園》

保育者が着目したポイントとなる具体的な姿	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読みとり
<p>①馬のエサを作っているグループの一人が「人参ってどんな感じかな」と、友達と話をしながら図鑑を見たり友達に相談したりする。また作った馬の口に当て大きさを確認するなど、人参を似せて作ろうとする。</p> <p>②「オレンジのビニール袋だと、中の新聞紙が透けちゃうね」「どうする?」と言いながら試し、本物により近いものを試しながら作り上げようとしていた。🍷</p>	<p>①移動動物園を思い出したり、素材の特徴を考えたりしながら、迷った時は図鑑で調べたり、友達に相談しながら、丸めたり形作ったりし、より本物に近いものを作ろうとする。</p> <p>【協同性】【思考力の芽生え】【数量や図形、標識や文字への関心・感覚】【言葉による伝え合い】【自然との関わり、生命の尊重】</p> <p>②保育者が提示したオレンジ色のビニール袋を使い、試したり、不具合を改良しようとしたりする。</p> <p>【思考力の芽生え】【自立心】</p>
<p>③友達とイメージを共有するために、ホワイトボードにイラストを描いて話し合いをする。</p> <p>④保育者の「どうしてそうしたの?」という質問により、自分の行動を振り返る。</p>	<p>③④ホワイトボードの使い方を理解し、活用している。保育者の声掛けにより思いを整理したり、振り返ったりする。</p> <p>【思考力の芽生え】【数量や図形、標識や文字への関心・感覚】【言葉による伝え合い】【豊かな感性と表現】</p>
<p>⑤自分たちの遊びを考え進め、完成・成功させようとしていた。</p> <p>⑥保育者や友達の働きかけにより自分のやるべきことに意識を向けて活動していた。</p>	<p>⑤⑥自分たちのやる事が分かっており、遊びに没頭し、時には友達と教え合ったりし、目的に向かって活動する。</p> <p>【自立心】【協同性】【言葉による伝え合い】</p>
<p>⑦遊びに来てくれる異年齢児のことも考えて活動していた。</p> <p>⑧動物園では、動物だけではなくカフェで</p>	<p>⑦⑧年下の子のことも考えて活動しようとする。自分たちの考える動物園のイメージを絵に描いたり言葉で伝えたりし、すり合わせようとしている。</p>

買って食べることも考えている。	【言葉による伝え合い】【協同性】【思考力の芽生え】【道徳性・規範意識の芽生え】【健康な心と体】
⑨振り返りの時間では、グループ活動を皆に伝えたり、他のグループの友達がそれに対して同調したり疑問を投げかけたりして全体で共有する姿が見られた。 ⑩振り返りでは自分の言葉で堂々と話す姿が見られた。	⑨⑩自分たちの意見を調整してクラスの皆にわかるように話す。友達の話は静かに聞き、いいアイデアに共感する。 【協同性】【思考力の芽生え】【道徳性・規範意識の芽生え】【言葉による伝え合い】

◆3つの資質・能力の視点から捉える

「10の姿」の読み取りから、クラスの子どもの育まれている資質能力について整理する。

「知識及び技能の基礎」

- ・今まで使ったことのある素材の特徴を思い出しながら、試したり考えたりし、新たな発見をする。
- ・オレンジ色のセロファンを透かしてみても、人参の土台となる新聞紙が透けて見えることを発見し、改良しようとする。
- ・ホワイトボードを使ってイラストを描きイメージを共有する。
- ・自分たちの意見を調整してクラスの皆にわかるように話す。

「思考力・判断力・表現力の基礎」

- ・移動動物園の経験を思い出し、友達とイメージを合わせようとしている。
- ・図鑑で調べたり色々試し、人参のイメージに合う納得できる状態を判断している。
- ・動物園にカフェを作るなど、より面白くする方法を考えそれに向けて活動している。
- ・自分たちのやること分かっており、時には友達と教え合ったりし目的に向かって活動する。

東山(保の)動物園を作りたい



- ・保育者の言葉かけによりイラストを使って思いを整理したり、振り返ったりする。
- ・年下の子が楽しめるように考えて活動しようとする。
- ・友達の話は静かに聞き、いいアイデアに共感する。

素敵な動物園を作りたいね。

「学びに向かう力・人間性」

◆一体的に育まれるとは

- ・子どもたちは、カフェのある動物園をつくり、小さい子を招くという目的に向かい、グループ活動をしている。移動動物園の経験を思い出し、エサやり用の人参を作るが、わからない時は図鑑で調べたり、制作した動物の口の大きさに合わせたり、保育者の提示したオレンジ色のポリ袋を試したりし、環境との関わりを通して透けてしまうという気づきをしていた。
- ・「本物らしくしたい」「小さい子を招きたい」という思いが、あきらめず活動したり、もっと面白くしたいという思いの強さとなり、子どもたちの遊びの没頭につながり、それが学びの原動力となっている。
- ・保育者の言葉かけにより自分たちの行動の振り返りにつながり、友達の共感的な発言は、自信をもって「学びに向かう力」となっていく。

◎年長児になるまでに積み重ねた経験として・・・

- ・身の回りのものや、色々な素材・材料を使って自由に遊ぶ経験を積み重ねる。この場に必要なる物を主体的に選ぶことができるようになる。
- ・友達と一緒に遊びの場を作りイメージを出し合いながら遊ぶ。
- ・受容的で応答的な関りの中で安心感を持って過ごし、保育者や友達に対して信頼感を持って生活する。

- ・小学校の生活科では、気付きを試し・比べ・発表して、自分のものとして落とし込み分かっていくことを大切にしている。
- ・近い将来、デジタル化の時代になる。デジタル機器は学びの基本として必要な物であり、情報を伝えるため、入手するためのツールであることを子どもに伝える。デジタル機器を正しく使うために、使う人や保育者の知識・技能が欠かせない時代となる。
- ・遊びに“夢中になる”“没頭する”ことについて、体の動きが大きい程熱量があるということでもない。子どもの能力や思いに応じて支援ができると、子どもは熱量が高い状態で楽しさを感じられるようになる。
- ・振り返りの時に、保育士が「なんでそうしたの?」「どう考えてそうしたの?」と常に理由を聞いていたが、このことで子どもは自分の行動を振り返ることができる。
- ・イメージの共有が大切となる場合、振り返りを行うことで、子どもは自分の行動や遊びの状態を客観的に確認する事ができる。またクラスの皆と共有することで、自分以外の考え方もあることを知り、子どもたちの中に考え方の幅が広がっていく。グループのものを合体してひとつのものをするとき、振り返りは必要なこととなる。
- ・今後言葉文化から文字文化に移行していき、自分で理解し、自分で感じ、主体的に活動し、考え判断する力が必要になる。そのために協同的な遊びを通し、達成感を得ることが大切となる。大人が折り合いをつける時は、満足や納得をしたとき、見通しが立っているとき、やることに飽きたとき、人に叱られるのを避けたいとき等が考えられるが、子どもには納得して折り合いをつけることを目指したいと思う。子どもが納得するためには、子どもの前日の姿をヒントに、保育者がここまではやろうとすることを明確に持ち、その対応をしていく。達成しなさそうなら多めのヒントを出す援助をする。

#### 《没頭の熱量について》

熱量1 ほとんど活動しない。

熱量2 ある程度参加、時々中断し他ごとをしている。

熱量3 忙しそうにしているが集中していない。

熱量4 明らかに没頭度をもって参加しているが、全力ではない。

熱量5 完全に没頭している リードしていなくても表情や行動で読み取れる。

★停滞している場合は、熱量が持てるような援助を保育士が整えてあげるとよい。

★環境としては、道具をとりに行く距離が遠かった。試したいときに試せるものが近くにあり、ぱっとできる環境であることが大切である。

#### 《遊び込む》ベネッセ教育総合研究所のデータより

- ・遊び込むということは、幼保小中の資質・能力に関係してくる。遊びに向かう力は、好奇心、協同性、自己抑制、自己主張、頑張る力に関係する力である。遊び込む経験の多かった子は、学びに向かう力が高い傾向にある。

#### 《遊び込んでいると考えられる6つの要素》

- ① 自由に好きな遊びをする。
- ② 好きなこと、得意なことを活かして遊ぶ。
- ③ 遊びに自分なりの工夫を加える。
- ④ 挑戦的な活動に取り組む。
- ⑤ 先生に頼らず制作する、遊ぶ。

### 《遊びに向かう力の基、人間性の基となる非認知スキルが身に付けられるかどうかの指標》

- ① 好奇心が満たされているか。
- ② 協同性はあるかどうか。
- ③ 困ったときに助けを求める先が分かっているか。(発展的な自己主張)
- ④ 嫌な事が我慢できるか(自己抑制)
- ⑤ 頑張る力が育っているか。

講話 清水良明 氏

- ・教師は創造的力が豊かであることが重要である。次はどうなるのか、これをしたらどうなるかと常に予想しながら保育していくことが望ましい。
- ・子どもの言葉理解について、保護者が「貴方は未熟児で生まれたよ」と言ったところ、子どもは「僕ナメクジだったんだよ」と理解していたり、綺麗になったことを「きれいになった」と言ったりすることがある。(赤くなった・白くなったと混同している) 子どもは知っている言葉でしか理解できないため、言葉の獲得が大切となる。
- ・思考力を高めたり深い学びを経験するために、考えたり文字に起こしたりすることが重要となる。子どもは、ひらがなも漢字も文字としての形でとらえていくため、漢字は大人から見ると難しいと感じるかもしれないが、さほど難しくない。子どもは漢字としての認識は薄くても、複雑な形、面白い形としてとらえていく。

## 2 幼稚園児と保育園児の保育交流

### 《上野台幼稚園と東山保育園》

- ① 日時 令和5年(2023年)11月13日(月)  
10:00~11:30
- ② 場所 上野台幼稚園
- ③ 参加人数 上野台幼稚園 5歳児39人 東山保育園 5歳児30人

#### <ねらい>

- ・幼稚園との交流に期待をもって参加する。

#### <内容>

- ・名刺交換 絵合わせゲームをする。

#### <成果・効果・感想>

- ・名刺交換でお互いの名前が知れたことで、名前を呼んだり、手をつないだりと楽しそうに遊ぶ姿があった。また、絵合わせゲームも分かりやすく不安そうな姿はなく参加していた。
- ・園に戻った後も、一緒に遊んだ子の名前を嬉しそうに話す姿があった。子どもはもとより、保育者も楽しく参加できたことから幼保交流の意義を感じた。

《明佳幼稚園と三ツ池保育園》

- ① 日 時 令和5年（2023年）6月23日（金）  
10：40～11：20
- ② 場 所 三ツ池公園
- ③ 参加人数 明佳幼稚園 5歳児105人 三ツ池保育園 5歳児24人

<ねらい>

- ・同年齢の友達に興味を持ち、触れ合うことを楽しむ。

<内容>

- ・6チームに分かれて転がしドッジボールで遊ぶ。

<成果・効果・感想>

- ・繰り返し経験していた遊びを、他園の友達と一緒に遊べることに期待をもち、安心して参加する姿が見られた。また、6グループに分かれて行ったことで、少人数で自然と会話をしたり笑いあったりする姿があり、子ども同士がたくさん関わりを持つことができた。「もっと一緒に遊びたかった」「新しいお友達が出来たよ」等と話していたため、同じ小学校に行く子もいることや、次回の交流についても知らせていくと、さらに嬉しそうにする姿があった。

《明佳幼稚園と三ツ池保育園2回目》

- ① 日 時 令和5年（2023年）10月23日（月）  
10：40～11：20
- ② 場 所 三ツ池公園
- ③ 参加人数 明佳幼稚園 5歳児105人 三ツ池保育園 5歳児25人

<ねらい>

- ・友達を応援したり、励ましあったりして、一緒にリレーをすることを楽しむ。

<内容>

- ・6チームに分かれてリレーで遊ぶ。

<成果・効果・感想>

- ・2回目の交流のため「また一緒に遊べるね」などと子どもたちからも聞かれ、交流を楽しむ姿があった。
- ・幼保が混合チームで行ったことで「がんばれ」「足速かったね」など、応援しあったり、認め合ったりする姿がごく自然に見られ、前回よりも親近感を持って遊んでいると感じた。
- ・この時期に交流の機会があることで「小学校に行ったらまた会えるかもしれない」と進学への期待につながったと思う。

今後の交流予定

- 葵名和幼稚園と名和東保育園 令和6年1月15日（月）
- 上野台幼稚園と東山保育園 令和6年2月21日（水）
- 雨尾幼稚園と大田保育園 令和6年3月 8日（金）  
令和6年3月13日（水）

### 3 保育参観・研究協議

木庭保育園

令和6年（2024年）1月31日（水）13：30～15：30

みどり保育園

令和6年（2024年）1月23日（火）13：30～15：30

高横須賀保育園

令和6年（2024年）2月 1日（木）13：30～15：30

加木屋保育園

令和6年（2024年）1月30日（火）13：30～15：30

### 4 その他

第3回幼児教育研究協議会

令和6年（2024年）2月27日（火）15：00～

東海市役所501会議室